

令和4年5月12日
ユーブロックス ジャパン株式会社

ユーブロックス、Wi-Fi 6、Bluetooth Low Energy 5.2、IEEE 802.15.4 (Thread および Zigbee) をサポートするトライラジオ・モジュールを発表

MAYA-W2、効率性の高い Wi-Fi 6 のメリットを産業用アプリケーションに拡張する初のホストベース・モジュール



2022年5月12日、スイス、タルヴィル＝スイスのu-blox AG（日本法人：ユーブロックスジャパン株式会社、東京港区、代表入山銳士）は、u-blox MAYA-W2トライラジオ・モジュールを発表しました。小型のフォーム・ファクターでWi-Fi 6、Bluetooth® Low Energy (LE) 5.2、IEEE 802.15.4 (Thread および Zigbee) をサポートするこのモジュールは、産業オートメーション、スマート・ビルディングとエネルギー管理、医療、スマート・ホームなど、多くの分野における、産業用および消費者向けマスマーケット・アプリケーションにWi-Fi 6技術を提供します。

MAYA-W2は、高度な接続機能によりアプリケーションの将来性を保証します。802.11axとも呼ばれるWi-Fi 6は、前世代のWi-Fi規格と比較して、特に混雑したエリアでのネットワーク効率の向上、低レイテンシ、通信範囲の向上を実現しています。Threadは、ホーム・オートメーションで一般的に使用されているIPベースの低消費電力メッシュ・ネットワークへの道を拓きます。

さらに、Bluetooth ClassicとBluetooth LE (Bluetooth LE Audioを含む)の両方をサポートするデュアルモードBluetoothモジュールです。新しいオーディオ機能により、デバイスで複数の異なるオーディオ・ストリームの同時送信、複数のオーディオ・ストリームの同時受信、複数ユーザーへのオーディオ・ストリームのブロードキャストが可能になります。

市場への早道

MAYA-W2は開発者が製品をいち早く市場に投入できるように設計されています。必要なLinux、Android、FreeRTOSソフトウェア・ドライバーは、すべてオープン・ソースとして提供されています。FreeRTOSソフトウェア・ドライバーはMCUXpressoソフトウェア開発キット（SDK）に、AndroidおよびLinuxソフトウェア・ドライバーはNXP i.MXアプリケーション・プロセッサ用ボード・サポー

ト・パッケージ（BSP）にあらかじめ統合されています。これにより設計の手間が省け、統合とテストが簡素化されます。

MAYA-W1 Wi-Fi 4 モジュールとのフットプリント互換により、それぞれのユースケースに固有のパフォーマンス要件に対応した複数の製品ラインの開発が容易になります。同時に、Wi-Fi 4 デバイスの Wi-Fi 6 技術へのアップグレードもシームレスに行えます。

MAYA-W2 は、動作温度-40°C ~ 85°Cに対応したプロフェッショナルグレードのモジュールとして提供されます。4 つの製品バリエーションがあり、アンテナピン、U.FL コネクタ、PCB アンテナを含む 3 つのアンテナ・オプションが選べるこのトライラジオ・モジュールは、あらゆるタイプの IoT デバイスへのデザイン・インが容易です。

製品開発者は、専用の評価キット（EVK）のほか、最新の NXP i.MX 開発ボードなどのホスト・プラットフォームとシームレスに接続する M.2 カードを使用して、簡単にハードウェアを検証することができます。

「NXP が先ごろ発表した IW612 は、スマート・ホームや産業向けのユースケースでシームレスかつセキュアな接続を可能にする業界初のトライラジオ・デバイスであり、新しい Matter プロトコルなどさまざまなエコシステムへの対応にも最適です。NXP Gold Partner のユーブロックスは、この革新的ソリューションを活用した初の企業の 1 つであり、同社の新しい MAYA-W2 モジュールは、堅牢かつセキュアで信頼性の高い接続を必要とする高性能な民生用最終製品の開発を迅速化することになるでしょう」と、NXP® Semiconductors 社マーケティング（コネクティビティ）部門シニア・ディレクターの Tom Eichenberg 氏は語っています。

幅広いアプリケーション領域がターゲット

MAYA-W2 は、幅広い IoT アプリケーションに高度な Wi-Fi 6 技術を提供する、初の産業グレードの Wi-Fi モジュールです。一般的なユースケースとしては、ソーラー・インバーターや EV 充電施設、医療、スマート・ビルディング、スマート・ホーム（Matter など）、スマート工場で使用されるワイヤレス・ハブやゲートウェイなどが挙げられます。そのほかにも、業務用電気製品、資産管理や車両運行管理、小売業向けソリューションなどに利用される可能性を秘めています。

さらに、Bluetooth LE Audio を導入したことでの新しいオーディオ・ストリーミング機能を利用した補聴器といったユースケースの道も拓けます。

「私たちは、お客様と作業を進める中で、Wi-Fi 4 以上にセキュアで信頼性の高い Wi-Fi 接続に対する明確なニーズがあることに気付きました。MAYA-W2 は、特に混雑したネットワークの処理に関して Wi-Fi 性能を大幅に向上させるとともに、Bluetooth LE 5.2 と Thread もサポートします。このトライラジオ機能により、低出力の IoT/メッシュ・ネットワークのゲートウェイやブリッジに最適な製品となっています」と、ユーブロックスのプロダクト・マネージャーの Sebastian Schreiber は述べています。

MAYA-W2 モジュールと評価キットのサンプルは、2022 年 6 月より、要望に応じて提供される予定です。

ユーブロックスについて

スイスのユーブロックス社 (SIX:UBXN) は、自動車、産業、および消費者市場におけるポジショニングとワイヤレス通信の世界的なテクノロジーリーダーであり、信頼性の高いソリューション、サービスおよび製品により、人や車両、機械の正確な位置を特定、セルラーネットワークおよび短距離ネットワークを介してワイヤレスでの通信を可能にします。チップ、モジュール、安全なデータサービスと幅広いポートフォリオを備えた **u-blox** は、顧客が IoT (Internet of Things) の革新的で信頼性の高いソリューションを迅速かつコスト効率よく開発できるようにする独自のポジションを築いています。スイスのタールヴィルに本社を置き、ヨーロッパ、アジア、米国にオフィスを構えています。詳細については www.u-blox.com をご覧ください。

最新情報は、[Facebook](#)、[LinkedIn](#)、Twitter [@ublox](#)、[YouTube](#) でもご覧いただけます。

<お問い合わせ先>

ユーブロックスジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-8-6 赤坂余湖ビル 6 階

Application Marketing, Automotive

仲 哲周

電話 : 090-1263-9796

e-mail: tesshu.naka@u-blox.com